



映像



公共施設の建設・統廃合計画は

計画改訂に着手し課題整理



ふじもと かずみ 議員
藤本 和美

建築物や上下水道等インフラは、今後改修や更新時期を迎える。

問 8年前に、更新費用を40年間で1704億円、年間42億円とした。現在の建築物・インフラの改修率は、総務部長▼8年間で合計135億円、7・9%の進捗状況。

答 順調に進んでいない理由は、限りある財源の中、優先度の高い事業から順次実施している。

問 計画では10年間で施設の10%縮減を明記。老朽化のため廃止・統合した施設は、2施設を廃止。

答 道路、橋梁の改修や更新の計画は、路面性状調査を実施し、1級2級町

問 道の23%が「悪い」の判定。上下水道部と工事をしたり、財政負担軽減を図り改修する。橋梁は国の補助金を活用し、5年サイクルで点検し、補修する。

問 水道管の老朽化率は34%。漏水は増えていないか。

答 上下水道部長▼管路の更新には1kmあたり1億円として110億円が必要。漏水状況などから老朽管路の更新をする。

問 若い世代に負担を残さず、どのように公共施設の建設と統廃合計画を行うのか。

答 総務部長▼今年度計画改訂に着手し、課題、目標を整理する。

行政区への支援

意見を伺い必要な施策を実施

行政区への加入率が下がっている。問題点を把握・改善し、どの

世帯も男女問わず参加できるしくみづくりが必要になっている。

問 本町と同じ行政区制度で運営する市町村は他にあるか。

答 総務部長▼県内では見あたらない。

問 世帯が多い区は特に、制度を変える必要があるのでは。

答 課題に共に向かい合い、改善すべきところは改善し、よりよい制度にしていく。

問 ごみ当番をはじめ、柔軟に行政区に任せられないか。

答 お互いが納得して利用できるよう、話し合いの中で解決していただく。

問 法律、契約、お金のトラブルの発生に、町ができる対応は、

答 区長会所管の総務課で弁護士に相談できる。未然にトラブルを防ぐ注意喚起等を行う。

問 持続可能で誰にでも開かれた行政区であるために、どんな取り組みで支援するか。

答 区長、地域から意見を伺い、必要な施策を実施する。



漏水した水管橋（芦谷区）



夜間の不燃ごみ当番（上六栗区）



丸山 千代子 議員

体育館空調は6校同時整備を

現時点では2年間で整備する



映像



問 学校体育館への空調設置が、児童・生徒の熱中症対策や避難所の環境改善からも急務だ。体育館の空調整備は4年計画で、今年度は中学校、小学校は2カ年整備計画である。

問 なぜ小学校は3校ずつの整備か。

答 教育部長▼工事費に多額の費用がかかる。補助金の交付要件が、工事を1月まで完了しなければならず、

適正な工期を確保する工事量とするため。

問 6校の整備にかかる必要額はいくらか。

答 3億3600万円。

問 補助金申請はいつまでか。前倒しできないか。

答 6月末である。6校同時は工期が間に合わない。



空調化が待たれる体育館

問 子どもに命の危険が伴い、差があつてはならない。体育館空調は6校同時整備を。

答 町長▼暑さ対策で国の方針が変わるなら2年繰り上げてもいいが、現時点では2年間で整備する。

ファミリーシップ制度の導入を

目的をはっきりさせ検討する

幸田町は、2023年7月1日からパートナーシップ宣誓制度を施行した。

カップルと生活を共にする未成年の子どもとの関係を証明する、ファミリーシップ制度の導入を問う。

問 ファミリーシップ制度は近隣の状況を見てからといってきた。検討したか。

答 企画部長▼愛知県がファミリーシップ宣誓制度を、今年4月1日から施行した。

県と自治体の二重制度になっているため、問題点など見極めたい。

問 県下では、パートナーシップからファミリーシップに移行している。ファミリーシップ制度の導入を。

答 新しい制度であり、目的をはっきりさせ検討する。

会議室の開放で学習スペースを

中央公民館で臨機応変に対応

図書館の学習室は人数制限があり、早朝から並んでも席が確保できず、増設を求める声がある。

若者の居場所づくりの一環である自習コーナー

ナ、学習室の拡充を問う。

問 図書館の学習室の座席数は。

答 教育部長▼54席ある。

問 予約席になることで解消できるか。

答 システムを導入し、3時間単位で区切ることので162席確保できる。

問 中高生は「時間制限がなく使える広い場所がほしい」というニーズがある。つかんでいるか。

答 承知している。

問 町民会館や中央公民館の会議室の開放で、学習スペースを増やす考えは。

答 まずは中央公民館で臨機応変に対応する。